

## 平成 27 年度（2015 年度）事業報告

### 1. 全体評価まとめ

- (1) すくすくスクール放課後環境教育は、今年も人気があり、27校1,128人の児童が参加した。
- (2) 小中学校出前授業（総合学習）は、校長会でのPRが功を奏し、予定していた計画数よりも大幅な依頼数があり、7校17回1,124人の児童・生徒が参加した。
- (3) 「みどりのカーテン」普及事業は、今年度も400件を上回る418件の参加者があり、人気を集めている。また、PTAが講習会を行うなど着実に広がりを見せている。
- (4) 「エコカンパニーえどがわ」登録事業所は、区の融資制度を機に大幅に増加し、今年度は53件が登録し、累計262件となった。また、継続的に環境活動に取り組める内容とするため制度の見直しを行い、平成28年4月から運用することとした。
- (5) オリンピック・パラリンピックを視野に入れ、区内の豊かな自然環境を区民に知ってもらうため「荒川生き物図鑑」を5千部作成した。区民から大変好評で追加で5千部印刷して対応した。
- (6) 区と共催で、水素エネルギー・燃料電池について区民の理解を深め意識の向上を図るため「水素エネルギーシンポジウム」を開催し、409人が集まった。

### 2. 次年度へ向けた重点課題

- (1) 小中学校出前授業やすくすくスクール放課後環境教育等の依頼事業は年々増加しており、新たなプログラムやスタッフの育成など運営体制の強化を図っていく必要がある。
- (2) 「エコカンパニーえどがわ」制度を充実させるため、ガイドブックを作成するとともに、各事業所の環境取組み状況を訪問するなどして具体的に把握するよう努めていく。
- (3) 生き物図鑑は、次年度「江戸川」版となるが、有効に活用してもらうため、印刷部数を増やすとともに、学校をはじめいろいろな団体にも利用してもらえるよう幅広くPRしていきたい。
- (4) 再生可能エネルギーや水素エネルギーについて、区民の理解を深めていくため、環境フェアなどのイベントの中で普及・啓発を行っていきたい。

### 3. 事業評価

活動項目		H26	H27	比
事業	事業数（件）	275	283	8
	参加者数（人）	16,387	20,722	4,335
会員等	会員数（個人・団体）	239	249	10
	もったいない運動登録者数（人）	102,391	110,256	7,865
財務	区補助金実績（千円）	45,479	44,058	△1,421
	民間等助成金実績（千円）	2,536	2,245	△291

### 4. 科目別事業評価

活動項目	事業数(件)	参加者数（人）
(1) 環境教育・環境学習の推進事業	49	2,166
(2) 人材育成事業	14	421
(3) 区民・事業者・行政の交流・連携の推進事業	170	16,133
(4) 情報の提供及び支援事業	18	1,091
(5) 自然環境の保全と活用	32	911
計	283	20,722

#### (1) 環境教育・環境学習の推進事業

##### ○結果

- ①グリーンプラン推進校に「こどもエコクラブ」（公益財団法人日本環境協会）の登録をすすめる。全校にメンバー手帳やバッジを配布した。有効に活用してくれる児童もいて奨励賞をもらうことにもつながった。
- ②学校出前授業は、17回1,124人の依頼があった。実施時期が集中していたにもかかわらず、実施日直前の急な依頼も引き受けたが、準備や人材には無理があった。
- ③すくすくスクール放課後環境教育で新たなプログラムを追加した。結果、全体では27校1,128人が参加し、参加者増につながった。
- ④夏休み期間の子ども環境教室は子ども未来館との共催で実施することができた。

##### ○次年度への課題

- ①引き続き、グリーンプラン推進校に「こどもエコクラブ」の登録をすすめる。訪問時などに制度の説明をして活用の検討をお願いする。
- ②小中学校出前授業では、互いの役割分担を明確にし、事前打ち合わせ内容の精査や相互の効率化をすすめる。グリーンプラン推進校での出前授業は年度当初に学校と打合せをして年間計画を立てるようにする。
- ③小中学校出前授業、すくすくスクール放課後環境教育は、引き続き人材の確保・育成に努める。

- ④子どもを対象とする環境学習は主催事業だけでなく、子ども未来館はじめ、区内外組織との連携を広めて推進する。
- ⑤エコセンターの出前授業プログラム冊子をコンパクトにまとめたパンフレットを作成して、環境教育事業およびその他エコセンター事業の推進に役立てる。

### (1-1)学校等環境学習支援

項 目	計 画	実 績
環境学習支援（グリーンプラン推進校・学校版もったいない運動）	12 校	12 校（累計 101 校） （説明・報告会 1 回/31 人）
出前授業（総合学習）の実施	5 回/500 人	7 校 17 回/1, 124 人 *おきがる環境講座（小中学校講座）3 回/203 人が再掲
すくすくスクール放課後環境教育	25 回/1, 200 人	27 回/1, 128 人
子ども環境教室 （5 日講座×2 回、3 日講座×1 回）	6 回/60 人	6 回/55 人
環境学習施設見学会	実施	1 回/31 人

### (2)人材育成事業

#### ○結 果

- ①昨年度まで人材育成事業として実施した生ごみリサイクル事業は企画提案事業としたため、おきがる環境講座のみの実施となった。
- ②おきがる環境講座の「リーダー・仲間づくり講座」は参加者少数のため中止を余儀なくされた。

#### ○次年度への課題

- ①近年受講者数が減少傾向にあることから、受講者確保のため江戸川総合人生大学等との連携を密にする。
- ②ホームページや区の広報課とのさらなる連携によるPRの強化に努める。
- ③講師・スタッフ等人材の育成、魅力的なプログラムや外部講師等について、区内外の組織との情報交換や連携をよりすすめていく。

### (2-1)環境学習リーダー養成講座

項 目	計 画	実 績
おきがる環境講座	18 回/500 人	14 回/421 人

### (3) 区民・事業者・行政の交流・連携の推進事業

#### ○結 果

- ①「みどりのカーテン」モニター講習会は、受講者数の伸びに対応する講師が不足している。
- ②「みどりのカーテン」モニター講習会に映像を活用することで、育成方法を参加者により分かりやすく伝えることができた。
- ③「みどりのカーテン」モニター報告書提出率が低くなる傾向にあり、今年度は30%未満となった。
- ④平成25年度から始まった、省エネナビ貸出事業は、省エネ・節電チャレンジの参加世帯数の低迷とともに参加世帯の確保が難しくなった。
- ⑤「家庭の省エネ診断サービス」で、「みどりのカーテン」モニターに呼びかけたところ、説明会に15名が参加した。結果、3世帯で診断書を作成した。
- ⑥開始から10年を経過し「エコカンパニーえどがわ」制度の見直しを行い、区の融資説明会で、金融機関に制度説明を行った。
- ⑦6月の環境月間および10月の3R月間を中心に商店街、スーパーマーケット、コンビニエンスストア等の協力のもと、区との協働で「マイバッグキャンペーン」PRを行った。

#### ○次年度への課題

- ①「みどりのカーテン」モニター講習会の講師、スタッフを増員する。
- ②「みどりのカーテン」モニター報告書提出について講習会で周知徹底する。
- ③省エネナビ貸出事業は、夏休みの宿題に活用していただけるよう、グリーンプラン推進校に呼びかける。
- ④「エコカンパニーえどがわ」制度を充実させるためガイドブックを作成し、広報課と連携してPRに努める。
- ⑤「もったいない運動えどがわ」のなかで、区で始まる「えどがわ食べきり推進運動」を連携してすすめる。

#### (3-1)もったいない運動えどがわの推進

項 目	計 画	実 績
もったいない運動登録者の拡大	107,000人	110,256人
環境フェア	5,000人	5,000人
もったいない講座・講習会の開催	100人	1回/19人
地域イベントへの参加	16回/7,100人	15回/6,740人
もりあげ隊（ボランティア参加者数）	実施	15回/85人

### (3-2)省エネ・新エネルギーの推進

項 目	計 画	実 績
省エネ・節電チャレンジ	70 世帯	42 世帯
省エネナビ貸出	6 回/20 世帯	説明会 4 回/7 世帯 (夏 3 世帯、冬 4 世帯)
家庭の省エネ診断		説明会 4 回/15 人 訪問調査 4 回/6 人 診断書説明 2 回/3 人
環境に配慮したエコライフ講座、講習会等の開催	20 回/400 人	18 回/304 人 (エコ・クッキング 7 回/126 人)
「みどりのカーテン」の普及啓発	13 回/470 人	講習会 13 回/336 人 交流会 1 回/15 人 環境フェア 82 人
キャンドルナイト (スタンド作り)	100 人	32 人

### (3-3)3R (リデュース・リユース・リサイクル) の推進

項 目	計 画	実 績
マイバッグキャンペーン	春・秋 2 期	春・秋 2 期実施 (展示会 8 日/505 人)
3Rに関する講座、講習会等の開催	80 回/1,100 人	72 回/1,076 人
エコセンターおもちゃの病院	12 回/220 人	12 回/256 人

### (3-4)事業者の取組み推進・支援

項 目	計 画	実 績
エコカンパニーえどがわ登録事業者の拡大	15 件	53 件 (累計 262 件)
エコカンパニーえどがわ普及啓発講座	1 回/150 人	1 回/409 人
E C E 登録事業者への省エネルギー相談	実施	実施

### (3-5)商店 (街・会) やスーパーのエコ活動支援

項 目	計 画	実 績
商店街主催イベントへの支援	4 回/450 人	3 回/653 人

### (3-6)イベント等への参加

項 目	計 画	実 績
産業ときめきフェア	200 人	2 日/200 人
エコプロダクツ 2015	450 人	3 日/450 人

### (3-7)チャレンジ・ザ・ドリーム (中学生職場体験)

項 目	計 画	実 績
チャレンジ・ザ・ドリーム (中学生職場体験)	実施	4 校/15 人

#### (4)情報の提供及び支援事業

##### ○結 果

- ①会員向けの講演会、バスツアーを実施し、会員への情報提供、交流の機会となった。
- ②インターネットホームページの運営はイベント・講座・ブログ等の情報を随時更新してタイムリーな活動 PR ができた。
- ③江戸川区の地域特性を生かした海洋教育を共催事業として区内小中学校で展開した。

##### ○次年度への課題

- ①好評であった会員向けの講演会、バスツアーの内容充実に努める。
- ②ホームページの運営について、過去のイベントや講習会の履歴をカテゴリー検索できるようにする。また、環境教育のページのより一層の充実に努める。
- ③出前授業に海洋教育をプログラムとして加え、区内小中学校で実施する。

#### (4-1)情報の発信と提供

項 目	計 画	実 績
「エコちゃんねる」の発行	3回	35-37号 各3,000部
ホームページの運営管理	実施	実施
リーフレットの作成	実施	実施
多目的ルームの活用	実施	実施

#### (4-2)他団体との連携・活動支援

項 目	計 画	実 績
江戸川総合人生大学への講師派遣	実施	実施
小中学校への海洋教育出前授業	600人	17回/1,058人
自然体験活動推進協議会(CONE)、日本環境教育フォーラム(JEEF)等との連携	実施	実施

#### (4-3)相談業務事業

項 目	計 画	実 績
会員等からの団体運営や事業等の相談	実施	実施

#### (4-4)会員の拡大

項 目	計 画	実 績
会員向けの講演会・交流会の実施	実施	バス見学会 1回/33人
あらゆる機会をとらえてのPR	実施	実施

## (5)自然環境の保全と活用

### ○結 果

- ①水辺環境調査の実施は天候に左右され、今年度も荒天のため一部延期して実施した。
- ②水辺環境調査の長年蓄積したデータを活用し、江戸川区の豊かな自然環境を周知するため「荒川生き物図鑑」を作成、区内小中学校や公共施設等に配布した。
- ③「(仮称)新川ふれあい観察会」は関係機関との調整がうまくいかず、実施することができなかった。

### ○次年度への課題

- ①延期を加味して船上調査の日程を早めに設定する。
- ②荒川に続き「江戸川生き物図鑑」を作成する。
- ③子ども未来館と連携して、新川に親しむ環境学習イベントを実施する。

### (5-1)水辺環境調査

項 目	計 画	実 績
新中川、江戸川・旧江戸川、荒川、葛西沖の水辺環境調査(受託事業)	植物3回/鳥類3回/ 魚類・底生動物1回/ 船上調査(植物・鳥類・ 魚類・底生動物)1回	植物3回/鳥類3回/ 魚類・底生動物1回/ 船上調査(植物・鳥類・ 魚類・底生動物)1回

### (5-2)自然復元・再生事業

項 目	計 画	実 績
河川や海岸のクリーン作戦を通じた自然環境の復元を進める	150人	2回/136人
絶滅種や生物多様性に関する啓発を進める(ムジナモ・ビオトープ)	100人	4回/108人

### (5-3)自然観察会・えどがわ自然学校

項 目	計 画	実 績
えどがわ自然学校や自然観察会等を通じ、自然に触れる	400人	17回/430人
一之江境川親水公園自然観察会	160人	185人
自然活動用啓発冊子、安全にかかわる情報提供	実施	実施